

議事録

項目	第3回 水前寺江津湖公園利活用・保全推進協議会 アクティビティ・マネジメント部会
協議日時	平成30年10月24日(水) 14:00~16:30
協議場所	熊本市総合体育館・青年会館 第1会議室
協議者 (敬称略)	国立大学法人 熊本大学大学院 くまもと水循環・減災研究教育センター 准教授 星野 裕司(部会長) 公益財団法人 熊本市美術文化振興財団 理事 葉山 耕司 公益財団法人 地方経済総合研究所 主任研究員 藤田 英介 キリン株式会社 CSV 戦略部 絆づくり推進室 (熊本復興支援担当) 古賀 朗(欠席) 株式会社スノーピーク地方創生コンサルティング シニアマネージャー 若松 隆一(欠席) 協業組合江津湖観光 マネージャー 江藤 啓貴 江津湖貸舟協同組合 監事 宮本 龍一(欠席) 一般社団法人 熊本市造園建設業協会 理事 松本 秀和(欠席) 一般財団法人 熊本市社会教育振興事業団 熊本市総合体育館・青年会館 館長 田口 八司郎 水前寺活性化プロジェクトチーム 事務局 楠本 英雄 幹事 庁内関係課、事務局
<議題>	(1) 前回会議の振り返り・今回の検討事項 (2) 計画の骨子(イメージ)について (3) 基本方針について (4) 具体的施策事業の検討 (5) その他 ～現地視察(1時間半)後～ 【議事録】 ●議題(1)から(5)とありますけれども、(1)から(4)まで一括でご説明いただいて、皆さんとディスカッションしてという形でいきたいと思っております。それではお願いします。(星野部会長) ～議題(1)から議題(4)説明後～ ●どちらかという今日は勉強(現地視察)と宿題(カルテ作成依頼)みたいな形なんですけれども、皆さんと少しディスカッションをしたいなと思っています。私の理解だと基本的考え方という上から考えていくのは前回ご理解いただけたかなとして、今度はどちらかというカルテみたいな形で、具体的な施策から、上から落としとしての考え方と下からこうボトムアップであ

げていく考え方をセットにして、骨子にしたいとそういう感じですね。(星野部会長)

- はい、そうです。(事務局)
- リストがあると連携できる可能性なんかも出てくるんじゃないかと、まずそのリストを作りたいというような感じですね。まずはそういう流れで議論を進めようと思ってます、と彼らは考えているんですけども、いいですかということでご確認いただいた方がいいかなと思うんですけどもどうですかね。正直今取り組み項目も基本的考え方のトーンを割っているだけなので。(星野部会長)
- 部会長おっしゃられるとおり、左側からと右側からと近づいていくブラッシュアップが必要かと思えます。(事務局)
- 何か進め方についてご意見ありますか？(星野部会長)
- 資料3と資料4-1と4-2との関係性がちょっと分からないんですけども。(健康づくり推進課)
- 大変申し訳ないです。資料3は全く別事業のものでございます。全国都市緑化フェアと一番上の帯に書いてますのは、同じような協議体を別につくっておきまして、別で進めている部分がございます。こちらとしては骨子としてこういうふうにまとめてますというのを、なかなか計画の骨子といっても皆さん理解できない部分もあるかと思いましたので、ご参考に入れさせていただいております。だいたい3枚ものくらいで、こんなことを記載するんですよというイメージを湧くようにという形で載せています。(事務局)
- わかりました。(健康づくり推進課)
- その他ご意見ありますか？(星野部会長)
- 議論の流れについてこれで本当にいいのかなと思っています。そもそも江津湖の魅力の整理というのが、前々回くらいまであって、その整理ができていないのに、具体的な施策に入りましょうという流れというのは危険なんじゃないかと思えます。江津湖では何ができるんですか、どういう魅力あるんですかという整理ができないけれど、ただ何かするということがまとまっている。上手く説明できないんですけども、何か行動ありきでやるよりも大きなテーマを決めて、こういう目立つものがあるからこういうものやっていったらと話した方が良いと考えます。その理念を先に決めていなくて、行動ありきで決めてしまうと危険、という違和感を感じています。(藤田委員)
- おっしゃられるとおり、今まで協議会の中で、2回の協議会と部会を開いていく中で、江津湖

そのものの話とその課題の抽出というのを議論させていただいてたと思うんです。江津湖の魅力というそもそものペーパー自体が確かに出来上がってないんですけども、議論も今回打ち切ったわけではなく、資料に起こしていないのは申し訳ないんですけども、その部分というのはある程度共有は、議論はさせていただいているとは思っているんです。上の魅力の整理というのは、併せてさせていただきますし、今後施策という部分にも入らせていただいた上で、先ほどと話は同じになりますが、上の整理と下の整理併せて並行してやっていきたい、そういったところを考えています。上の議論というのはすごく大事で上からの、バックキャスト的にやっていくのかどうか、ボトムアップ的にやっていくのかということもあるかと思うんですけど、一度ここの玉出し、実際何をやっていくのかで、基本方針のフレーズも私変わってくるかもしれないと思っているんです。できることというのにも限られてくる部分が出てくると思うんです。なので、あまりにも目標だけが大きくなりすぎちゃっているのかなと後から、トーンダウンという言葉好きではないんですけども、この辺がお互い下からと上からと、そこで近づけていきたい。まずは下の部分も並行してやっていきたいと思ひまして。(事務局)

●分かりました。(藤田委員)

●あともう一点、推進協議会自体は環境部会とアクティビティ・マネジメント部会と2つの部会で動いているんですね。江津湖の魅力はほぼ環境というか、“水”“生き物”という環境に集約されるのが根本だと思うんですけども、どちらかというところというのは環境部会で議論していて、それをどうアクティビティ・マネジメント部会がサポートできるかとか、活動に繋がっていきけるかとか、私個人はそんな役割分担というふうに理解しているので、そういう意味では、どう汗をかけるかというところから始めていき、でも汗をかけることだけでまともな駄目というのはまさにおっしゃるとおりな気がしますので、そこら辺はこういう場でしっかり厳しく決めていく必要が確かにあるのかなと思います。(星野部会長)

●分かりました。(藤田委員)

●よろしいですかね、進め方の意義というか、課題というか、共有する点でいうと。あと私大事だなと思うのが、だからそういう意味でまず施策事業のリストみたいなたたき台をつくりたいので、皆さんどんどんアイデアを下さいという段階ですけど、例えばもうすでに思いつくことがあったら共有してもらえると、他の人に聞きたいことなど、何かあればお願いします。(星野部会長)

●体育館の方で先ほど説明があったように健康フィットネスクラブという事業を行っておりまして、これにつきましては熊本市内の方、全部ではなくて中央区のお住まいの方を対象に体育館の中でできるような運動、それと食の改善、そういったことを体育館の運動指導士と栄養士と保健師と一緒にやっていく事業なんですけれども、こういった事業を、今日も回りながらランニングされている方とかたくさんいらっしゃると思うんですが、実際江津湖を使って健康になるために運動されている方はたくさんいらっしゃいますので、そういった方にも色々

こちらの方から体育館からの方からも指導員を派遣して、健康になっていただくような事業を考えていこうという、それにタイアップしていただきたいのが、資料5-1に書いてあるように大学の方とか、図書館や企業の方、飲食店さんとか、そういった方々に一緒になってやっていただきたいという私達は次のイメージ的にカルテの作成ということで、作っていききたいと思います。その中でこれは要望になるんですけども、江津湖の遊歩道の部分にスタートのここからは何百メートル、何キロというような表示も必要になってくるし、あと周りに健康的な遊具みたいなもの、ちょっと筋トレが出来たりとか、腹筋したり、ストレッチしたり、そういったのをところどころに設置していただくと、より健康運動士も歩くだけの有酸素運動だけではなく、筋トレもやりながら、そういった事業ができると、ある程度その中で、週に1回その教室みたいなのをやって、あとは自分で歩数計あたりを渡して、何歩いったら何ポイントというようなことをして、最終的には期間を設けて、協賛企業から賞品を出してもらおうとか、あと学校対抗にして、校区対抗とかもつくって、表彰したりとか色々できると思うので、そんなことをちょっと考えていきたいなというふうに思います。体育館としてですから、健康になっていただくということで事業を考えたいと思っております。(田口委員)

- 葉山です。今日は、自分がよく知っていた江津湖が知らないことが多くて、あまりにも詳しい方のガイドでしたので驚きました。環境部会の方とはすり合わせをする機会は、あるんでしょうか？(葉山委員)
- そうですね、今協議会の前には、星野部会長、利活用の部会長と環境部会の部会長あと協議会会長の市川会長と今どうやってやっているみたいなお話で、そういったすり合わせは行っています。(事務局)
- やはり環境あつての江津湖だと思いますので、カルテというからには何か問題点、症状が出ている、共有できていないといけないということで言いますと、やはり各論的に私はこう、あの人はこうしたいということではなくて、共有できるものでないといけませんから、^{かいり}乖離したアイデアをこちらから出してもしょうがない。環境部会さんのことをしっかり踏まえた方がいいだろうなとなんとなく思っています。そういったパズル、アクティビティも含め、そういう感じです。それを切ったり、すったり、貼ったりがやはりあると思うので、最後になったときに全部でてる、これが提言書ですとなった時に、いわゆるデザインがなされていない状況になるんじゃないのかなとちょっと心配しました。そういった例がたくさんあったものですから。(葉山委員)
- ご指摘のとおりだと思いますので、カルテの方を環境部会の方にもあるときに同じような投げかけで、実際一昨日部会の作業部会的なものをした時に、同じ話をさせていただきまして、このカルテの作成を依頼させていただいたところです。今スタートは一緒になってきていますので、その作る時の段階のところで工夫を考えたいと思います。お互いが共有し、ちょっとそれはという部分が出てくるのも当然だと思いますので、その辺での工夫も考えさせて下さい。それに部会の時には資料をお示ししたりはしておりますので、前段のご説明であったりという

のを逐次やっていくというところで、ある程度両方の部会がどんな動きをしているんだということもお知らせをすると先ほど言ったようにどこかでまた合わせるといったこともやっていきたいと思っております。(事務局)

- 議論進めたいということでまずこの2つの部会を設けたわけで、そのデメリットもたくさんあるので、ある種部会長会議なんかも前回くらいから始めたんですね。そうでもしないと隣が何議論しているか分かんないじゃないので。あと田口委員からもあった施策で、こういうの一個じゃなくていいというか、例えばジョギングを皆でやりたいと、フィットネスクラブ的なことを拡充したいと言った時に、例えばこれが資料4-2のどこに当たるか分かんないけれど、たぶん利用者ニーズの「市民参加型のスポーツプログラム」みたいなものの例なのかな、あんまり整合していないけれど。それでずっと下を見ると、「散策・ジョギングのための園内整備」といったハード的なものもあって、だからこのスポーツプログラムをやるためにはこれも必要だよなというそういうセットで出してもらってもいいわけですよ、さっきのお話のように。そういうソフトを回すにはこういうハードな整備があるともっといいというような、最終的に載るか載らないかは別にして、そう組み合わせてご提案いただくとすごく有効ですよ。(星野部会長)
- 結構下江津の方が運動するにはもっといいかなという場所がたくさんあるんですね。(田口委員)
- 最初は色々なアイデアを、それからそれを小分けしていったり、一緒に固めたりという作業は併せてさせていただければと思います。(事務局)
- 質問ですけど、江津湖の水ですね、さっき東濱屋付近の石垣のところから水がずっと流れ出ていましたけれど、あれは飲めるんですか？飲めなくてもいいんですけど、水の聖地、パワースポット的な何かそんなのがあると、例えば合格祈願だったら一勝地とか、恋人の聖地とか、水が湧き出るから運動、スポーツの力が湧き出るスポットとか何かそういうのがあればなと思っています。(田口委員)
- 確かにお尋ねとして問い合わせがあるのは事実なんですけれども、水質調査やっているところもあるんですね。(事務局)
- 水質上は飲めるけども、水道法とかもありますので、それ上では飲めない。(東部土木センター河川公園整備課)
- 今課題になっているのは、既存拡充ばかり出ていて、新規が出ないんじゃないかなと、例えば、パワースポットだとか、新規というのは最初思いつきですので、そういうのを皆さんから集めるような、だからアンケート形式、エクセル表などを送って、ここを埋めて下さいとかそのくらいの方がいいかなと思います。皆さんがやられていることとか、やりたいなと思っているア

アイデアを気軽な感じでもいいので出していくといいと思うんですね。例えば今日話を聞いていて、砂取を復活させたいなとか思った時に、雑に底砂をとるのではなく、環境的な施策とセットになるといいですね。（星野部会長）

●はじめの一歩がないとその先が生まれないということで、気楽に書いていただくことが大事かなという気がしますので、どうかよろしくお願い致します。（事務局）

●あと気になるのが、今日欠席されている方がいらっしゃいますけれども、その方々にも聞くようにするんですね？（星野部会長）

●なかなか分かりづらい部分もあるかと思しますので、趣旨とともにきちんと依頼させていただきたいと思っております。（事務局）

●このメンバーだけでいいのか、他にも聞いた方がいいのか。サウンディングとか色んなのも入ってきたりするんですか？（星野部会長）

●今サウンディングの状況についてなんですが、応募いただいております、ただヒアリングがまだなんです。A4の様式一枚で数社の方々からご提案をいただいているんですけど、内容までお聞きできていないので、その内容次第でこういった形が盛り込めるのかなというのをこちらは今模索といったところをしている状況です。状況を見つつ、こちらの部会にも報告させていただいて、併せてカルテと考えていくということも必要になるのかなと思っております。それで今回の骨子を作りまして、骨子を作った後、色々市民の方々ともオープンハウス、オープンハウスというのは江津湖でこんなこと、きちんと対話形式なんです。アンケートでいくと、郵送したら終わりみたいな感じがしていて、オープンハウスはキャッチボール一人当たり5分、10分はかけて、内容ともにその方の思いというのをヒアリングしていくというのがオープンハウスのやり方でございますので、作った骨子を基にこういったヒアリング、例えば江津湖で日頃使われている方、また街なかであんまり使われていない方、そういった両方のお話というのをその骨子を基にヒアリングをして肉付けをしていきたい。オープンハウスで肉付けをして、それを具体化していく今イメージを持っています。（事務局）

●今日現地視察で案内していただいた青木さんはすごいですね。あの方に入ってもらいたいんですね。江津湖近辺歴史文化講座ということでやるとすぐやっていただけるんじゃないですかね。毎日でも一人でもやるといった勢いなので、そういう人活はすぐやったらどうですか。こちらの勝手は色々あると思うんですけど、今日みていてすごいなと思ったので、どうですか。（葉山委員）

●今環境部会の方に県立図書館さん入っていただいているんですよ。確かに青木さんもお詳しいですし、まだまだお詳しい方に入っていただいております。県立図書館さんは自分達は江津湖をフィールド、県の公園ではなくなっていますが、自分達の目の前に広がっている公園なので、

そこをフィールドとしてやっているんだと、皆さんお詳しいです。(事務局)

- やっぱり熱量なんですよ。(葉山委員)
- 話が上手い人ですよ。(星野部会長)
- 色んな場面でアドバイザー的にですね。(事務局)
- あと私が気になる場所というところ、資料4-2見ていただいて、オレンジの部分は思いつきも含めて結構浮かぶと思うんですよ。特に私達の部会で大事なものは、公園経営とか、担い手づくりの紫、緑色の部分ですよ。そこら辺もう少し意識あげておいてもらって、紫、緑色のアイデアをほしいなと思うんですよ。例えばまちづくりセンターさんとかでいうと、緑の部分の「若者の参加」とか、地域の人達の巻き込み方とか、何かそういうところの役割があるとすごくありがたいし、もちろんまちづくりセンターさんだけじゃなくていいですけども、ただ意外と紫のところは最近のパークマネジメントだとか、何かそういうのアイデアを参考にすると色々出てくるかもしれないですよ。(星野部会長)
- 例えば、広報の公園プロモーション、青木さんとか、そういうのもあるし、あとカフェ・レストランの設置があるじゃないですか、例えばロンドンのハイドパークという公園があって、江津湖的な雰囲気というか、似ている感じかなと思ったんですよ。やっぱり走っている方もいっぱいいらっしゃいますけど、走った後に食事されているんですよ。カフェは近隣にありますけれども、江津湖には朝ごはんを食べるところがないんですよ。でもロンドンとは違んですよ、ブッフェ形式でちゃんと食べられる。それが例えばレストランとかでもお話をして、できるものなのか、やったからといってそこで儲かるかどうか分かりはしないわけですけども、私だったらそういうお店をやります。そういうアイデアを浮かすだけでもちょっとちがうのかなと。(葉山委員)
- そうですね。持ち帰っていただいてというか、メモ程度に埋めようかなという感じをお願いしたいと思います。(星野部会長)
- こういうことがしたいとあったとして、そうすることによって江津湖に人が来るんだよというところまでやっぱり考えた方がいいんですか？(江藤委員)
- そうですね、いわゆる魅力と質を高めていかないといけないという部分はやっぱり江津湖の魅力を発信することによって、これは環境部会でも同じなんです。人に来てもらって、環境を守るといって後継者がどんどん育っていくみたいな、そのためには江津湖の魅力をまず知らないといけないといった、こっちの利活用も環境も一緒の皆様同じ考えです。そういったところに何か、そういった目的に通じらないといけないと思うんですよ。適切な公園経営でも今の収支状況というのは、1億5千万円程度、毎年維持管理で拠出しつつ、先ほど青木さんからあります

したけれども、庭園の管理が上手くいっていないと、そういうご指摘ございましたが、やはりそういったところも、色々なアイデアが必要だと思うんです。いわゆる普通の一般的な管理をしている日本庭園は綺麗にならないんですね、やはりきちっとした庭師さんとかが必要なんだと思います。ご指摘していただいて素直に思いました。やはり維持管理費はこうやってかさむ部分がありますが、色々アイデアによってその部分を抑える、低減させるという部分、そういったところの仕組みを考えていかないと出るばかりではいけないというのがこの2番目、結果的には1番目の魅力に繋がっていくかもしれませんけれども、そういったイメージです。(事務局)

●今思いついたアイデアが具体的に、例えば何割あがりますとか、そんなものは分かんないので、そこまではないとしても少なくとも、このオレンジ、紫、緑のどこら辺に位置するのか、どこに貢献できるのかくらいが最低あるといいですよ。(星野部会長)

●そうですね、あまり最初から何かするとなかなかアイデアが湧きづらくなるかもしれないですね。(事務局)

●その他ご意見いかがでしょうか？だからそういう意味では次の部会、江藤ボートさんでやられる部会が結構大事な部会になる。集ってきたものを整理したらこうなりました、環境部会ではこんな議論になっています。これで十分ですかとか、そんなことを議論する場になると思います。(星野部会長)

●実際にお客さんが来るかもしれないので、ヒアリングをしてみてもいいかもしれないですね。(江藤委員)

●そうですね。今日とは違った議論ができそうですね。その他ご意見どうですか？いいですか、それでは(5) その他お願いします。(星野部会長)

～(5) その他 次回部会の案内について 説明後～

●はい、最後に本日の会議全体で何かご意見ございますか？
無いようですので、本日の議事は全て終了とさせていただきます。ありがとうございました。(星野部会長)

以上